

演習問題 5.1 次の行列の固有値・固有ベクトルを求めよ。

$$(1) \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \qquad (2) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 1 & 2 \\ 3 & 2 & 1 \end{pmatrix}$$

$$(3) \begin{pmatrix} 0 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

(1) $A = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ とおく。固有方程式は $\Phi_A(t) = \det(tE - A) = \begin{vmatrix} t & -1 & 0 \\ 0 & t & -1 \\ 0 & 0 & t \end{vmatrix} = t^3 = 0$ なので、固

有値は 0 である。0 に対応する固有ベクトルを $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ とすると、 $Ax = 0x$ が成立している。このとき

$y = 0, z = 0, 0 = z$ が成立している。よって固有ベクトルは $x = \begin{pmatrix} x \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ の形をしている。特に固有ベクトルと

して $v = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ を選ぶ事ができる。

(2) $A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 1 & 2 \\ 3 & 2 & 1 \end{pmatrix}$ とおく。固有方程式は $\Phi_A(t) = \det(tE - A) = \begin{vmatrix} t-1 & -2 & -3 \\ -2 & t-1 & -2 \\ -3 & -2 & t-1 \end{vmatrix} = t^3 - 3t^2 - 14t - 8 =$

$(t+2) \left(t - \frac{5+\sqrt{41}}{2}\right) \left(t - \frac{5-\sqrt{41}}{2}\right) = 0$ なので、固有値は $-2, \frac{5 \pm \sqrt{41}}{2}$ である。 -2 に対応する固有ベク

トルを $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ とすると、 $Ax = -2x$ が成立している。このとき $x + z = 0, y = 0$ が成立している。ここは

方程式の理論を理解しているものとして、計算過程の叙述を省略している。各自計算する事。よって固有ベクトル

は $x = x = \begin{pmatrix} x \\ 0 \\ -x \end{pmatrix}$ の形をしている。特に固有ベクトルとして $v_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}$ を選ぶ事ができる。

$\frac{5+\sqrt{41}}{2}$ に対応する固有ベクトルを $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ とすると、 $Ax = \frac{5+\sqrt{41}}{2}x$ が成立している。このとき

$x = z, \frac{3 - \sqrt{41}}{2}x + 2y = 0$ が成立している。よって固有ベクトルは $\begin{pmatrix} x \\ -\frac{3 - \sqrt{41}}{4}x \\ x \end{pmatrix}$ の形をしている。特に固

有ベクトルとして $v_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ -\frac{3 - \sqrt{41}}{4} \\ 1 \end{pmatrix}$ を選ぶ事ができる。

$\frac{5 - \sqrt{41}}{2}$ に対応する固有ベクトルを $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ とすると, $Ax = \frac{5 - \sqrt{41}}{2}x$ が成立している。このとき

$x = z, \frac{3 + \sqrt{41}}{2}x + 2y = 0$ が成立している。よって固有ベクトルは $x = \begin{pmatrix} x \\ -\frac{3 + \sqrt{41}}{2}x \\ x \end{pmatrix}$ の形をしている。特

に固有ベクトルとして $v_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ -\frac{3 + \sqrt{41}}{2} \\ 1 \end{pmatrix}$ を選ぶ事ができる。

(3) $A = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ とおく。固有方程式は $\Phi_A(t) = \det(tE - A) = \begin{vmatrix} t & 0 & -1 \\ 0 & t & 0 \\ -1 & 0 & t \end{vmatrix} = (t+1)(t-1)^2 = 0$ な

ので, 固有値は $1, -1$ である。 -1 に対応する固有ベクトルを $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ とすると, $Ax = -x$ が成立している。

このとき $x = -z, y = 0$ が成立している。よって固有ベクトルは $x = \begin{pmatrix} x \\ 0 \\ -x \end{pmatrix}$ の形をしている。特に固有

ベクトルとして $v_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}$ を選ぶ事ができる。

1 に対応する固有ベクトルを $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ とすると, $Ax = x$ が成立している。このとき $x = z$ が成立してい

る。よって固有ベクトルは $\begin{pmatrix} x \\ y \\ x \end{pmatrix}$ の形をしている。特に固有ベクトルとして $v_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ と $v_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ を

選ぶ事ができる。 v_1, v_2, v_3 は 1 次独立である様に選んだ。

演習問題 5.2 次の行列を対角化せよ。

$$(1) \begin{pmatrix} 2 & 1 & 1 \\ 1 & 2 & 1 \\ 1 & 1 & 2 \end{pmatrix} \qquad (2) \begin{pmatrix} 0 & -2 & -1 \\ 1 & 3 & 1 \\ 2 & 2 & 3 \end{pmatrix}$$

$$(3) \begin{pmatrix} -1 & -2 & -1 \\ 1 & 2 & 1 \\ 2 & 2 & 2 \end{pmatrix}$$

(1) これは 5.2 節で取り上げているので省略。

(2) $A = \begin{pmatrix} 0 & -2 & -1 \\ 1 & 3 & 1 \\ 2 & 2 & 3 \end{pmatrix}$ とおく。固有方程式が $\Phi_A(t) = \det(tE - A) = t^3 - 6t^2 + 11t - 6 = (t-1)(t-2)(t-3) = 0$

なので、固有値は 1, 2, 3 である。1 に対応する固有ベクトルとして $v_1 = \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$, 2 に対応する固有ベクトル

として $v_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix}$, 3 に対応する固有ベクトルとして $v_3 = \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ を選ぶ。 v_1, v_2, v_3 は 1 次独立である。

$P = \begin{pmatrix} -1 & 1 & -1 \\ 0 & -1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 \end{pmatrix}$ とおくと P は正則であり, $P^{-1} = \begin{pmatrix} -1 & -1 & 0 \\ 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 \end{pmatrix}$ となる。 $P^{-1}AP = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 2 & 0 \\ 0 & 0 & 3 \end{pmatrix}$ となり対角化される。

(3) $A = \begin{pmatrix} -1 & -2 & -1 \\ 1 & 2 & 1 \\ 2 & 2 & 2 \end{pmatrix}$ とおく。固有方程式が $\Phi_A(t) = \det(tE - A) = t^3 - 3t^2 + 2t = t(t-1)(t-2)$ な

ので、固有値は 0, 1, 2 である。0 に対応する固有ベクトルとして $v_1 = \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$, 1 に対応する固有ベクトルとし

て $v_2 = \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$, 2 に対応する固有ベクトルとして $v_3 = \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ を選ぶ。 v_1, v_2, v_3 は 1 次独立である。 $P =$

$\begin{pmatrix} -1 & -1 & -1 \\ 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 \end{pmatrix}$ とおくと P は正則であり, $P^{-1} = \begin{pmatrix} -1 & -1 & 0 \\ -1 & 0 & -1 \\ 1 & 1 & 1 \end{pmatrix}$ となる。 $P^{-1}AP = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 2 \end{pmatrix}$ となり対角化される。